

| | | |
|---------|--|-----------------|
| 20 | 生活文化スポーツ局 | エシカル消費普及啓発 |
| 事業概要 | <p>消費者の持続可能な社会の形成に貢献する消費行動を促進するため、「人や社会、環境に配慮した消費行動」である「エシカル（倫理的）消費」の理念について、様々な機会やツールを活用して広く都民に普及啓発し、理解の促進を図る。</p> | |
| これまでの経過 | <p>平成30年度から様々な世代を対象にPR動画の作成や啓発キャンペーンの実施、講座の開催等、各種普及啓発の取組を展開してきた。</p> <p>令和4年度からは、企業・団体とネットワークを構築し、エシカル消費を日常にするための社会的ムーブメントを創出するプロジェクト「TOKYO エシカル」を立ち上げ、パートナー企業・団体と連携し、情報発信や体験の場の創出等の協働事業を展開してきた。</p> | |
| 現在の進行状況 | <p>「TOKYO エシカル」において、SDGs やエシカル消費につながる取組を実施している企業・団体とネットワークを構築し、エシカル消費にかかる情報提供や体験の場の提供などの協働事業を実施することにより、エシカル消費を実践しやすい環境の構築と気運醸成に取り組んでいる。</p> <p>令和7年3月末現在、271のパートナー企業・団体が参画している。</p> <p>専用WEBサイト・SNSでの情報発信、プロジェクトの活動活性化のためのカンファレンスの開催のほか、エシカル消費を体験するマルシェ、中高生がファッションウェアの制作を通してエシカル消費を学ぶワークショップ等をパートナー企業・団体と協働して実施した。</p> | |
| 今後の見通し | <p>都民がエシカル消費を身近に感じ、具体的な行動につなげることを目的として、下記の取組を実施する。</p> <p>1 エシカル消費について情報発信</p> <p>パートナー企業・団体の取組紹介を通して「何がエシカル消費につながるのか」「自分の身近な場所でやれること」などの情報をわかりやすく発信し、都民のエシカル消費への理解や実践を促す。</p> <p>2 プロジェクトの活動活性化</p> <p>都とパートナー企業・団体の連携を強化するとともに、企業等のアイデア・ノウハウを集結し実効性のある取組を企画・実施するためのカンファレンスを開催する。</p> <p>3 協働事業の実施</p> <p>行動につながる体験の場の創出、未来を担う子供たちに向けた取組、都・都民・企業等がエシカル消費についての発信や行動を起こすキャンペーンを軸に、パートナー企業・団体と協働事業を展開する。</p> <p>4 助成事業</p> <p>パートナー企業・団体に対するエシカル消費の普及啓発活動の取組支援</p> | |
| 問合せ先 | 生活文化局 消費生活部 企画調整課 | 電話 03-5388-3069 |